

## ウクライナ戦争。毎日情報更新。第237日 - 238日

英語版はソフィア・オリニツクさんとマリヤナ・ザヴィイシカさんによって作成されました。

攻撃を受けている都市 ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は、10月10日以降、ウクライナの発電所の30%が損傷を受け、全国的に大規模な停電が発生したと報告しました。10月17日のウクライナのエネルギー部門への攻撃の結果、数百の入が住む都市では電気が遮断されました。したがって、ウクライナのシュミハル首相は、エネルギーシステムを安定させるために、ウクライナ人に電気の使用を控えめにするよう呼びかけました。

キーウ州 月曜日のキーウ市へのドローン攻撃の結果、妊婦を含む4人が死亡しました。翌日の10月18日、ロシア軍は市の重要インフラ施設を砲撃しました。現在、襲撃現場に近い多くの住宅では、電気と水の供給サービスの提供が部分的に制限されています。

ハルキウ州 10月17日、ロシアの侵略者はロシアとの国境近くにある集落を砲撃しました。その結果、3人が負傷しました。10月18日の朝、ロシア軍はベルゴロドからハルキウ市へ8回のミサイル攻撃を開始しました。

ミコライウ州 攻撃の結果、10月17日の夜、ロシアの侵略者は、ウクライナの主要なヒマワリ油の輸出業者の1つの油コンテナを損傷しました。これらの製品の世界輸出の17%が、ミコライウ市のこのターミナルを通過しました。また、企業の隣の通りに油が漏れていました。同じ日に、ロシアの侵略者が軍事境界線上にある村々に発砲しました。さらに、バシタンスク地区の農業企業は、ロシアの砲撃により被害を受けました。10月18日の夜、ロシア軍はミコライウへのミサイル攻撃を開始しました。その結果、2階建ての建物が損傷し、1人が死亡しました。また、市の中心では、高層住宅や広場、近隣の商店街が被害を受けました。ロシアの侵略者は、このミコライウ州のバシタンスク地区を砲撃しました。砲撃の結果、4軒の民家、文化の家、子供の遊び場が被害を受けました。

ドニプロペトロフスク地域。10月17日、ロシアの侵略者はこの地域にミサイル攻撃を開始しました。その結果、1発のミサイルがこの地域のエネルギー施設に命中しました。また、この地域では民家が被害を受けました。10月18日の夜、ロシア軍はニコポル地区を砲撃しました。砲撃により、農業企業、送電線、通信塔が被害を受けました。1000世帯が電気なしで放置されました。朝、占領されたロシア人はドニプロのエネルギー施設を攻撃しました。その結果、ドニプロ号の一部の地域で電気が遮断されました。

外交政策。ウクライナは、イチケリアのチェチェン共和国がロシア連邦に占領されていることを認め、チェチェン人の大量虐殺を非難しました。エストニア議会は、ウクライナ領土の併合を非難し、ロシアをテロ政権と宣言する声明を採択しました。

ウクライナは、ウクライナでの侵略戦争とウクライナ市民の殺害に対するイランの武器提供を非難し、ロシアへの武器供給の即時停止を求めました。「ウクライナで侵略戦争を繰り広げ、ウクライナ市民を殺害するために武器を提供することは、ウクライナに対するロシアの侵略、戦争犯罪、テロ行為にイランが加担することになる」と、ウクライナ外務省は声明で報告しています。同時に、複数の欧州連合の外相が、イランの無人偵察機のロシアへの譲渡をめぐり、イランに対する制裁を求めた、とロイターは報じました。一方、ジョセップ・ボレルは、欧州連合はロシアの対ウクライナ戦争へのイランの関与の具体的な証拠を探していると述べました。

人権。国連委員会は、一連の戦争犯罪、人権侵害、国際人道法の違反がウクライナで行われていることを発見し、国連総会に報告しました。委員会は27の町と入植地を訪問し、191人の犠牲者と目撃者にインタビューしました。国連委員会は、2月にロシア軍が占領したチェルニーヒウ、スミ、キーウ、ハリキウ地域で行われた即決処刑、不法監禁、拷問、虐待、不法送還、レイプ、およびその他の性的暴力を記録した。

ハリキウ地域の非占領地域では、ウクライナの法執行官がすでに600人以上の民間人の死体を発掘したと、モナスティル式内務大臣が報告しました。

赤十字国際委員会の代表は、ウクライナの代表団が彼らを待っていた一時的に占領された領土との国境に到着しませんでした。その前に、ウクライナはICRCに上訴し、旅行を提供する用意があると発表しました。

10月17日、最初の女性囚人交換が行われました。108人のウクライナ人女性がロシアの捕虜から解放されました。解放された人々の中には、本格的な侵略の前から不法投獄されていた女性も含まれていました。

エネルギー安全保障。日本は、敵対行為によって損傷または破壊されたウクライナの重要なインフラ施設の復旧を、特に必要な機器や施設を提供することによって支援する用意があると発表しました。

ウクライナのエネルギーのインフラストラクチャに対するロシアの攻撃の後、ウクライナのエネルギー大臣ハルシチェンコ氏は、ウクライナのエネルギー施設の上空の保護を求めました。

経済安全保障。10月17日、国際通貨基金のウクライナ ミッションがウィーンで活動を開始しました。作業会議では、ウクライナ経済の現状、マクロ予測、2023年の国家予算のパラメーター、および赤字を補填するための資金源が検討されます。

文化。ウクライナは、国際機関によるロシア連邦の博物館との協力の終了についてユネスコに要請しました。また、ウクライナの文化・情報政策省は、クリミアの博物館から避難しようとするこれらの試みを記録するよう、すでにユネスコに訴えています。

## 総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年10月19日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約 66,280人、戦車 2554台、装甲戦闘車両(APV) 5,235台、砲兵システム 1637台、多連装ロケットシステム(MLRS) 372台、対空戦システム 189台、固定翼航空機 269台、ヘリコプター 242台、軽装甲車 3,999台、ボートおよび軽装ボート 16台、運用戦術レベルUAV 1286台、特殊装備 146台、移動式短距離弾道ミサイルシステム 323台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- [ボランティア翻訳者](#)としてSharetheTruthsプロジェクトを支援してください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！